

令和6年11月定例会 県土整備委員会

令和6年12月19日（木）

〔委員会の概要 県土整備部関係〕

梶原委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。（13時12分）

これより県土整備部関係の調査を行います。

この際、県土整備部関係の追加提出予定議案について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

【提出予定議案】（説明資料（その3））

- 議案第24号 令和6年度徳島県一般会計補正予算（第7号）

【報告事項】

なし

朝田県土整備部長

本日、追加提案を予定いたしております案件につきまして、御説明申し上げます。

お手元の説明資料（その3）の2ページに目次がございますが、御審議いただきます案件は、令和6年度一般会計補正予算でございます。

この度の補正予算につきましては、国の総合経済対策に呼応し、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の最終年次として取りまとめられたインフラ整備をはじめ、安心・安全と持続可能な成長を支援する強靱な県土づくりを加速するための公共事業予算を計上しております。

3ページを御覧ください。

一般会計の歳入歳出予算総括表でございます。

表の下から3段目、計の欄を御覧ください。

左から3列目の補正額の欄に記載しておりますとおり、県土整備部合計で200億9,682万4,000円の増額をお願いしております。

その右隣の計の欄には補正後の額を記載してございますが、886億4,767万3,000円となっております。

また、補正額の財源につきまして、右の財源内訳の欄に括弧書きで記載してございます。

4ページを御覧ください。

特別会計でございますが、今回、特別会計の補正はございません。

5ページを御覧ください。

このページから12ページにかけては、補正予算に係る課別の主要事項説明についてでございます。

まず、高規格道路課でございます。

国直轄事業負担金として5億8,100万円の補正をお願いしております。

6ページを御覧ください。

道路整備課でございます。

緊急地方道路整備事業費など、合計66億1,300万円の補正をお願いしております。

7ページを御覧ください。

都市計画課でございます。

公園整備事業費など、合計5億7,300万円の補正をお願いしております。

8ページを御覧ください。

河川政策課でございます。

国直轄事業負担金など、合計16億5,292万4,000円の補正をお願いしております。

9ページを御覧ください。

河川整備課でございます。

総合流域防災事業費など、合計72億8,300万円の補正をお願いしております。

10ページを御覧ください。

砂防防災課でございます。

地すべり対策事業費など、合計20億3,660万円の補正をお願いしております。

11ページを御覧ください。

水環境整備課でございます。

農業集落排水整備事業費として、1億1,730万円の補正をお願いしております。

12ページを御覧ください。

港湾政策課でございます。

港湾海岸保全施設整備事業費など、合計12億4,000万円の補正をお願いしております。

13ページを御覧ください。

このページから19ページにかけては、繰越明許費でございます。

一般会計の変更分といたしまして、この度補正をお願いしております事業について、さきの9月議会で御承認いただいた翌年度繰越予定額の増額変更をお願いするものであり、変更分を反映した補正後の合計は、最後の19ページを御覧ください。表の最下段、右から2列目の欄に記載のとおり304億8,982万4,000円となっております。

以上で、提出を予定しております案件の説明を終わらせていただきます。

なお、報告事項はございません。

御審議のほど、よろしくお願いいたします。

梶原委員長

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

原委員

今回追加提案される公共事業に係る補正予算について、お伺いしたいと思います。

去る12月17日、総合経済対策に基づく国の補正予算が成立したところではありますが、さきの付託委員会でも、今後の補正予算の県の取組状況についてお伺いしました。

情報収集など準備を進めていくとのことでしたが、今回追加提案される県の補正予算の

概要について教えていただきたいと思います。

原田県土整備政策課長

ただいま原委員より、今回追加提案させていただいております県の補正予算の概要についての御質問を頂いております。

今回追加提案させていただいております県補正予算につきましては、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の最終年次分を含みまして、総額13兆9,000億円となる国の経済対策補正予算案に呼応したものでございまして、県土整備部関係では、前年度から3億円増となる総額約201億円の公共事業予算をお願いするものでございます。

この補正予算を活用した対策につきましては、主には防災・減災、国土強靱化の加速による災害対応力の強化といたしまして、ミッシングリンク解消などによる災害に強い道路ネットワークの構築、ダム再生や堤防整備など気候変動等を踏まえた流域治水、橋梁やポンプなどの機能を維持する予防保全型インフラメンテナンスを行うとともに、地域産業の基盤となるインフラの構築といたしまして、県内産業の競争力強化、生産性向上に資する港湾の整備などを進めてまいりたいと考えております。

この度の県補正予算をお認めいただいた後には、国の総合経済対策の策定趣旨に鑑みまして、速やかな執行に努めるとともに、安心・安全を軸に持続可能な地域経済の成長を支援する強靱な県土づくりを加速させてまいりたいと考えております。

原委員

先日の付託委員会でも質問しましたが、経済対策の意味からも、予算規模も非常に重要であると考えているところでありまして、昨年度を少しでも上回る補正額が確保されたことは本当に有り難いことです。

今回の国補正予算における公共事業は、5か年目の最終年次を迎える国土強靱化のための5か年加速化対策が核となっておりますが、国土強靱化に関して、本県における成果について教えていただきたいと思います。

国土強靱化に関して、道路・河川・港湾など各事業におけるこれまでの成果と、今回の補正予算での実施内容をお伺いしたいと思います。

原田県土整備政策課長

ただいま原委員より、国土強靱化に関するこれまでの成果と、今回の補正予算での実施内容についての御質問を頂いております。

まず、これまでの全体的な実績といたしまして、県土整備政策課より御説明させていただき、その後、詳細につきましては各課より御説明させていただきたいと思います。

令和2年から今回、令和6年補正予算までの5か年の加速化対策といたしましては、本県には国の直轄を除きまして、県予算ベースで今回を含む5か年で910億円が措置されております。

これらによる主な実績といたしましては、まず、国直轄事業では、令和7年度の供用を目指す徳島南部自動車道、小松島南から阿南間をはじめとする高規格道路の整備や、吉野川、那賀川の河川改修などが進められてきたところでございます。

また、県事業におきましては、撫養川や日和佐港海岸の堤防耐震化をはじめとする地震津波対策、園瀬川の堤防整備や勝浦川の河道掘削に代表される流域治水、色面トンネルなどの道路整備や徳島鴨島線の無電柱化による道路の強靱化、打樋川排水機場や阿波麻植大橋などにおける長寿命化を実施するなど、県下で幅広く展開したところでございます。

この度の補正予算を活用いたしまして、県土強靱化を着実に進めてまいりたいと考えております。

続きまして、各課より詳細内容について御説明させていただきたいと思っております。

杉本高規格道路課長

それでは、私からは道路事業全般につきまして御説明させていただきます。

道路事業につきましては、これまで3か年緊急対策、5か年加速化対策などを積極的に活用いたしまして、国直轄事業では、令和7年度開通に向けた小松島南・阿南間などの整備が進むとともに、県事業では、山城東祖谷山線の京田工区など約7kmの緊急輸送道路が完成、また、国道438号川上工区など約11kmの道路法面对策が完了したところであり、着実に成果が上がっているものと考えております。

この度の11月補正の道路関係予算につきましては、国直轄事業負担金で5億8,100万円を計上させていただいております。

また、緊急地方道路整備事業など、県管理道路の改築及び補修など街路事業も含みまして、計68億円を計上させていただいております。

具体的には、国直轄事業につきましては、徳島南部自動車道の立江櫛淵地区の改良工事、阿南安芸自動車道福井道路の新野トンネル、徳島南環状道路の僧津山トンネルなど、昨年度を約10億円上回る約34億円の事業費が確保されたところでございます。

このことは、8月の決起大会など、政府与党に対し、繰り返し道路整備の必要性を訴えてきた成果であり、議員各位をはじめ関係者の皆様に厚く御礼申し上げるところでございます。

また、県事業では、徳島津田インターや小松島南インターなど、地域活性化に寄与するインターチェンジの整備、県道では日和佐小野線や徳島東環状線など緊急輸送道路等の整備、徳島鴨島線や徳島環状線など耐災害性を向上いたします無電柱化の対策、末广大橋や東三好橋など地域の生活を支える橋梁修繕など、強靱な県土づくりを加速する予算を計上させていただいております。

今後とも、地域の皆様の安心・安全な暮らしを支え、産業振興や地域活性化など地方創生の礎となる道路整備の推進にしっかり取り組んでまいります。

山本河川政策課長

続きまして、私から河川砂防事業につきまして御答弁させていただきます。

河川砂防事業につきましては、流域治水の下で進めております事前防災対策や予防保全型のインフラ老朽化対策を推進しているところでございます。

これまでの主な実施内容につきまして、大規模な国直轄事業におきましては、吉野川の勝命箇所や那賀川の加茂箇所などの堤防の完成、長安ロダム放流ゲートの増設など。県事業におきましては、園瀬川や那賀川の堤防整備、撫養川の地震津波対策、海部川の河道掘

削や樹木伐採、赤ハデ谷の砂防堰堤^{えん}や桑内地区の地すべり対策など、流域治水の考え方の下、県下全域で事業を展開してきたところでございます。

今回、提案させていただいております河川砂防関係の補正予算につきましては、国直轄事業負担金といたしまして15億円、県事業といたしまして約95億円でございます。前年度とほぼ同額の110億円を計上させていただいているところでございます。

具体的には、国直轄事業におきまして、吉野川の堤防整備や那賀川の地震津波対策、早明浦ダムをはじめとするダム再生事業や祖谷川流域での地すべり対策。県事業におきまして、園瀬川の堤防整備や日和佐川の地震津波対策、小溜谷の砂防堰堤の整備などに加えまして、インフラ長寿命化対策といたしまして、冷田川排水機場のポンプ設備の修繕や鳴門海岸の堤防補強などを実施する予算を計上させていただいております。

今後とも、激甚化、頻発化する水災害を迎え撃つため、気候変動を踏まえた流域治水に取り組み、県土強靱化を着実に推進してまいりたいと考えております。

西岡港湾政策課長

私からは、港湾関係の説明をさせていただきます。

これまでの県土強靱化の実績につきましては、国直轄事業、徳島小松島港の本港地区、金磯地区の岸壁補修などの完成で予防保全事業の促進が図られてございます。

県事業では、南海トラフ巨大地震を迎え撃つ地震津波対策といたしまして、日和佐港海岸大浜地区での護岸改良、浅川港海岸浅川地区での津波の水位で自動閉鎖する陸蘭^{ろうらん}の全7基が完成、その他、粟津港里浦地区の岸壁補修等、老朽化対策を促進してきたところでございます。

今回、提案させていただいております補正予算につきましては、国直轄事業負担金で3億600万円、県事業で9億3,400万円を計上させていただいております。

具体的には、まず国の直轄事業では、令和7年1月に着工式を迎えます徳島小松島港の赤石地区の国際物流ターミナル整備をはじめ、徳島小松島港沖洲（外）地区の予防保全事業などの促進でございます。また、県事業におきましては、浅川港海岸などの地震津波対策をはじめ、撫養港海岸や橘港海岸の老朽化対策、徳島小松島港の金磯地区の岸壁補修などを実施する予算を計上させていただいております。

今後とも、災害対応力の強化や地域産業の基盤構築などにつながる港湾整備を着実に進めてまいります。

原委員

各事業の成果も含めて、県土強靱化が着実に進んでいることがよく分かりました。

ただ、県南に向けた徳島南部自動車道、阿南安芸自動車道の整備をはじめ、吉野川の堤防整備や小見野々ダム再生などの大規模事業に加えて、日頃使う道路の整備や身近な中小河川の改修、土砂災害対策など、挙げれば切りがないですが、県内のインフラ整備はまだまだ十分ではなく道半ばで、県民の皆様の安心・安全を実現するためにも、継続的な県土強靱化の取組は必要不可欠だと思います。

引き続き、しっかりと予算の確保を含め、取組を更に推進していただければと思います。頑張ってください。よろしく申し上げます。

梶原委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で県土整備部関係の調査を終わります。

これをもって県土整備委員会を閉会いたします。（13時30分）